

第1941号

2020年3月15日

日本共産党根室市議団

根室市宝林町4-203

TEL 23-6023

FAX 24-1684

3月定例会議会特集

3月2日に開会した3月定例会議会は、12日(木)に代表・一般質問、13日(金)に各常任委員会、そして来週からは根室市の新年度予算を審議する予算審査特別委員会が行われます。今回の市議団ニュースでは、橋本竜一議員の代表質問の要旨を紹介します。



型建設事業、地方交付税、市立病院への繰り出し、公衆施設の維持管理などをふまえて見解を問います。

二・領土問題について

現在の日口関係について市長の見解を質したうえで、新設される北方領土対策部の役割、北方四島との交流、隣接地域の財源対策(北方基金事業)について質問します。北方四島との交流では、専門家交流について、昨年11月に行われた歴史文化・自然・地震への専門家交流シンポジウムの意義と、一方で領土問題が未解決であることによる大きな制約・課題について報告されたことを指摘。日口両国の政治的な課題が研究推進を阻害しているのであれば、その対策を求めるべきと主張し、見解を求めます。

三・地域経済と産業振興対策について

市政方針で「産業振興ビジョン」を見直すとしています。将来的な基幹産業の強化・発展のためには、近年のサンマ等の不漁による地域経済への影響について、しっかりとした調査・分析を行う。つたうえで実施すること求めます。さらに、労働力の確保と雇用環境の向上に向けた、予算措置なども含めた抜本的な対策についても見解を問います。また、産学官の連携、新年度より稼働される栽培漁業研究センターについても質問します。栽培漁業研究センターは、沿岸漁業資源増大が目的ですが、有効活用のためには、四島周辺での日口共同による海洋環境や水産資源などの調査が必要と指摘。市長の見解を求めます。

四・地域の保健・医療・介護・福祉に関する諸問題について

現在の高齢化の状況や患者動向、地域的な健康

畠山和也「かけあえる記」

政府は急いで支援策を

2020年3月9日

持病などをお持ちの方をはじめ、新型コロナウイルスに心配されている方がいるかと思えます。医療・介護・福祉などの現場では、ご自身の体とともに患者利用者に感染しないようにと細心の注意も払われています。広い北海道では、1つの医療機関や介護施設などが閉院・閉所となった場合、すぐ隣町に行けるといっ距離ではない町村もあります。しっかりと国が現場を支えるべきです。

それにしても安倍首相は、学校休校も中国・韓国からの入国制限も、なぜ専門家の意見をふまえないのでしょうか。責任ある機関や行政の長が信頼ある情報を発信することが、こういう時には大切です。根拠なき「宣言」「要請」では、ただ不安を掻き立てられることになりはしないでしょうか。

久しぶりに外で遊んだという、子どもたちのほすんだ笑顔にホッとします。何の心配なく話ができる、自由に遊ぶことの喜びが早く戻るように私ども力を尽くしたい。雇用や経営など、困りごとは遠慮なく日本共産党へ相談ください。

なお、来週から始まる

予算審査では、一般会計の審査に橋本議員、各事業・特別会計の審査に鈴木議員が入る予定です。